



教 育 目 標

かしこく
やさしく
たくましく

令和7年12月24日
忍路中央小学校
忍路中学校
学校だより9号
本庄 有希子



忍路小中HP <https://www.otaru.ed.jp/osyoro-psjh/>

学びのゴールは、地域を盛り上げるスタート

校長 本庄 有希子

今月、本校が推進する「ふるさとキャリア教育」の集大成として、地域学習発表会を開催いたしました。保護者・地域の皆様、そして日頃から子どもたちをご指導くださっている講師の皆様をはじめ、本当に多くの方々にご来場いただきましたことに、心より感謝申し上げます。

この発表会は、忍路・蘭島という素晴らしい地域だからこそ実現できる、人・物・自然の豊かな環境を最大限に活かした学びの成果でした。

小学生は、近くの蘭島川での生物調査やフットパスを通じた自然・史跡学習を展開しました。川に生息するカニ、土場遺跡の発掘品、道端の植物（食べられるもの、危険なもの）、そして忍路環状列石の用途など、自ら興味を持ったテーマを深く掘り下げ、生き生きと発表しました。

中学生は、蘭島でのウニ漁体験学習という貴重な機会を得ました。船に乗せていただき、漁業の現場を肌で感じた経験から、この地域の漁業が持つ歴史や現状、そして未来について、真剣に考え、考察したことを発表してくれました。

どの発表からも、子どもたちがこの「ふるさと」を真剣に見つめ、学びの楽しさと深さを知ったことが伝わってきました。私たち教職員も、子どもたちの発見と探究心に改めて感動し、この地域がまさに「宝の山」であることを再認識いたしました。

発表会の最後に、私はこのような感謝と期待の言葉を贈りました。「皆さん、素晴らしい発表でした。この地域が『宝の山』であると再認識しました。校長先生から、皆さんへお願いがあります。それは、この素晴らしい忍路・蘭島の魅力を、ここだけの秘密にせず、全世界へ向けて発信することです。」

この言葉には、二つの思いを込めています。一つ目は「自己肯定感と郷土愛の醸成」です。この地域特有の自然や文化に触れ、深く理解することは、子どもたちの確かな自信（自己肯定感）につながります。そして、この学びの場を与えてくれるふるさとへの深い愛を育ててほしいと願っています。二つ目は「地域を盛り上げる主役へ」という思いです。発表はゴールではなく、スタートです。「こんな素敵な場所があるんだ。」「美味しいウニがあるんだ。」と胸を張って発信していくことで、この地域はもっと輝きます。未来の蘭島・忍路を担う主役となってほしいという期待を込めました。

本校は、この環境を最大限に活用した「ふるさとキャリア教育」を、今後も推進してまいります。子どもたちが地域資源から学ぶだけでなく、その成果を地域へ還元し、発信していく「場」を提供し続けることが、学校の重要な使命であると考えております。

地域の皆様、保護者の皆様には、引き続き子どもたちの学びの協力者・理解者として、温かいご支援をお願い申し上げます。この地域を愛し、世界へ発信できる力を身につけた子どもたちが、忍路・蘭島の明るい未来を築いてくれることを信じております。



中学校 ユニセフ募金

12月15日（月）から19日（金）の5日間、生徒会が中心となり、ユニセフ募金活動に取り組みました。世界中の子どもたちの生存、保護、発達、そして「子どもの権利条約」に基づく権利を守るための募金です。今回は、生徒会が事前にアンケートを取り、ガザへの募金を呼びかけることを決めました。毎日、交代で募金を呼びかけ、小学生や中学生、先生方が募金をしてくれました。

先日、生徒会代表が事前に蘭島郵便局に電話をし、入金を行ってきました。



小中 第2回合同遊び

12月15日（月）の昼休みに、生徒会主催の第2回合同遊びが体育館で行われました。今回は「助け鬼」をしました。

中学生が鬼となり、小学生や先生方を一生懸命に追いかけ、捕まえました。捕まえても、捕まえても、すぐに助けられ、逃げられてしまいました。小学生も中学生も目がキラキラ輝いていました。体育館全体を使って思いっきり走り、たくさん体を動かしました。小学生も中学生も汗びしょりになりながら、楽しい時間を過ごすことができました。



P T Aレクを行います

事前アンケートの結果、参加できる人数が多かった3月7日（土）にP T Aレクを実施することに決まりました。場所や内容については、小学生と中学生、そして保護者の皆さんからいただいた意見をもとに、P T A事務局で話し合い、ご案内いたします。

内容によっては、保護者の皆様にもお手伝いいただくこともありますので、ご協力よろしくお願いいたします。

☆P T Aレクは

3月7日（土曜日）

午前中に開催いたします。

詳細は、後日案内いたします。

小中 雪印メグミルク食育授業

12月16日（火）に、雪印メグミルクの方を講師に迎え、食育の授業を行いました。「体（からだ）」という漢字は、昔はどのように書かれていたかを想像し、考えることから食育の授業は始まりました。昔は「骨に豊か」と書いて「體（からだ）」と書いていたそうです。

小学校3・4年生は「牛乳の大切さ」、5・6年生は「骨の成長に必要なこと」、中学生は「骨の成長に大切なこと」について、多くのことを学びました。

小学生はバター作り、中学生はチーズ作りの体験を通して、牛乳について理解を深めました。



小中 いじめ防止サミット

12月15日（月）の5校時に、児童会と生徒会合同で、いじめ防止サミットを行いました。いじめがなく、安心して過ごすことができる忍路小中学校を目指して、「ありがとう。」「嬉しかった。」「と感じたことをたくさんリストアップしました。それを交流する活動を通して、相手を傷つけずに、思いやる優しい気持ちをもちながら生活していくことの大切さに改めて気が付くことができました。



小中 防犯訓練・防犯教室

12月11日（木）の5校時に、小樽警察署生活安全課の方にご協力いただき、不審者が校舎内に侵入したという想定で防犯訓練を行いました。高学年や中学生が中心となり、迅速に、安全に避難することができました。

その後、不審者が校舎に侵入したときや学校外で不審者に遭遇したときの対処法やSNS等の正しい使い方などに関するお話をしていただき、防犯意識を高めることができました。

